

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
素粒子原子核研究所教員公募について

本機構では、下記のとおり教員を公募いたします。

記

公募番号 素核研 23-2

1. 公募職種及び人員

特任助教 若干名 (任期 単年度契約で 2028 年度末まで)

本機構の教員の職名は、教授、准教授、講師、研究機関講師、及び助教であるが、機構の性格から、大学における講座制とは異なる運営が行われる。

2. 研究(職務)内容

科学研究費助成事業・国際先導研究(代表者 三原智)「国際協力によるミュオン素粒子物理研究の新展開」による特任助教として、素粒子原子核研究所に所属し、ミュオン素粒子実験においてミュオンビーム生成、輸送、冷却、加速等の開発研究ならびに関連する検出器の開発に関わる。研究期間のうち少なくとも6ヶ月程度はミュオン研究を進める海外研究機関に滞在して研究を行う。勤務地は東海キャンパスとする。

3. 応募資格

研究教育上の能力を有すると認められる者であって、応募時点で博士の学位を有する者、または着任までに博士学位取得見込みの者、かつ着任時に博士の学位取得後 8 年未満の者(博士の学位を取得後に取得した産前・産後の休暇、育児休業の期間を除き学位取得後 8 年未満となる者を含む)。

4. 給与等

給与及び手当は本機構の規則による。(年俸制)

5. 勤務形態

原則として、専門業務型裁量労働制を適用する。(みなし勤務時間:1日7時間45分)

6. 公募締切

2023年7月4日(火)正午 必着

7. 着任時期

2023年9月1日以降できるだけ早い時期

8. 選考方法

原則として書類選考の後、面接を行う。配属先は希望、研究内容を考慮して総合的に判断する。

状況に応じ、オンラインで面接を行う場合がある。

面接予定日:決まり次第機構 Web サイトに掲載します。(対象となる方にはお追って詳細をお知らせいたします。)

9. 提出書類

(1)履 歴 書——KEK 指定様式 (<https://www.kek.jp/ja/cv/>よりダウンロードしてください。)

※KEK指定様式以外の履歴書を使用する場合は、通常の履歴事項の後に必ず応募する公募番号(2件以上応募の場合はその順位)、電子メールアドレス及び可能な着任時期を明記すること。

(2)研 究 歴

(3)今後の研究計画

(4)研究業績リスト(主要業績5点以内に印をつけること)、主要なもの(5編以内)についてはリストに○印を付し、Webポイント(URL,DOIなどを記載すること。(Webポイントを記載できない主要論文については、別刷を提出すること。))

(5)意見を伺える方2名の連絡先(電子メールアドレスを記載のこと)

10. 書類送付

(1)応募資料

当機構の Web システムを利用して提出してください。

※個人ごとにアップロード用のパスワードを発行しますので、応募される方は人事第一係 (jniji1@ml.post.kek.jp)宛に電子メールでご連絡ください。(件名は「素核研 23-2 応募希望」とし、本文に所属、氏名及び電話番号を記載してください。)

※応募に係るファイルは、PDF をお願いします。

※Web システムでのアップロードが困難な場合は、人事第一係までお問い合わせください。

※電子メールでのファイル添付による応募は受け付けることができませんので、ご注意ください。

注)電子メールは様々な理由により受信できない可能性があります。

数日以内に返信がない場合には、別メールアドレスや電話等によりご連絡ください。

11. 問い合わせ先

(1)研究内容等について

[総括担当者、応募受付担当者]

〒305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1

高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 教授 三原 智 e-mail: satoshi.mihara@kek.jp

[各実験担当者]

ミュオン・電子転換、大強度ミュオンビームの生成技術・輸送技術の開発:

KEK IPNS 三原智 (e-mail: satoshi.mihara@kek.jp)

ミュオン g²・EDM、ミュオンの冷却・加速技術の開発:

: KEK IPNS 三部勉 (e-mail: tsutomu.mibe@kek.jp)

(2)提出書類について

総務部人事労務課人事第一係

TEL: 029-864-5118 (ダイヤルイン)

E-mail: jniji1@ml.post.kek.jp

12. その他

(1) 本機構は、男女共同参画を推進しており、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績(研究業績、教育業績、社会的貢

献等)及び人物の評価において優劣をつけかたい最終候補者(男女)がいた場合、女性を優先して採用します。

(男女共同参画推進室 <https://www2.kek.jp/geo/>)

(2) 仕事と家庭生活の両立を図ることなどを目的とした在宅勤務制度があります。

[KEK 人事公募へ](#)